

## 令和5年度 第2回地震・火山噴火予知研究協議会 議事録(案)

日時 令和5年11月13日(月) 13:00~15:00

場所 web 会議システムによるリモート会議

出席者:

(委員)

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター(議長)	特任教授	谷岡勇市郎
京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター長(副議長)		
	教授	大倉敬宏
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長(予算委員長)	教授	青山 裕
弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所長	教授	前田拓人
東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター	(代理)教授	日野亮太
東京大学地震研究所長	教授	古村孝志
東京大学地震研究所附属地震予知研究センター長	教授	上嶋 誠
東京大学地震研究所附属火山噴火予知研究センター長	准教授	金子隆之
東京大学地震研究所附属観測開発基盤センター長	教授	小原一成
東京大学地震研究所附属地震火山情報センター長	准教授	鶴岡 弘
東京大学地震研究所附属地震火山噴火予知研究推進センター長	教授	加藤尚之
東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設長	教授	鍵 裕之
東京工業大学科学技術創成研究院多元レジリエンス研究センター	(代理)准教授	寺田暁彦
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター長	教授	渡辺俊樹
京都大学防災研究所附属地震予知研究センター長	教授	澁谷拓郎
京都大学防災研究所附属火山活動研究センター長	教授	井口正人
高知大学工学部附属高知地震観測所長	准教授	大久保慎人
九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター長	教授	松本 聡
鹿児島大学大学院理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所長	教授	中尾 茂
東北大学災害科学国際研究所	教授	木戸元之
新潟大学災害・復興科学研究所	准教授	片桐昭彦
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	教授	井出 哲
東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター	教授	関谷直也
東京大学史料編纂所(東京大学地震火山史料連携研究機構)	教授	杉森玲子
東京大学大気海洋研究所	准教授	朴 進午
千葉大学大学院理学研究院	教授	服部克巳
鳥取大学大学院工学研究科	教授	香川敬生
国立文化財機構奈良文化財研究所	主任研究員	村田泰輔
京都大学防災研究所	教授	松島信一
富山大学学術研究部都市デザイン学系長	教授	渡邊 了
神戸大学海洋底探査センター	教授	島 伸和

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科	(代理) 教授	浦川 豪
情報通信研究機構電磁波研究所	リモートセンシング研究室長	川村誠治
防災科学技術研究所地震津波防災研究部門	総括主任研究員	高橋成実
海洋研究開発機構海域地震火山部門	専門部長	石原 靖
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	上級主任研究員	田中明子
国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター	地殻変動研究室長	宗包浩志
気象庁地震火山部管理課	地震情報企画官	下山利浩
海上保安庁海洋情報部技術・国際課	地震調査官	石川直史
北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所	地域地質部長	石丸 聡
山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター長	研究管理幹	石峯康浩
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部長	教授	大湊隆雄
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長	准教授	石山達也
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長	准教授	内田直希
東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻(戦略室長)	教授	西村太志
産業技術総合研究所研究戦略部連携推進室国内連携グループ	グループ長	宍倉正展
大正大学地域構想研究所	客員教授	加藤照之
(協議会オブザーバー)		
気象庁地震火山部管理課	火山対策官	平祐太郎
文部科学省研究開発局学術調査官	鹿児島大学大学院理工学研究科准教授	八木原寛
(当日オブザーバー)		
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	課長	郷家康德
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震火山専門官	井上和久
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	防災科学技術推進室長	吉田和久
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	行政調査員	小澤 拓
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	行政調査員	田中 聡
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	本部係長	熊谷祐穂
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	係員	近藤亜弥
東京大学地震研究所	副事務長	辻角隆之
東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当	主査	春山秀雄
東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当	一般職員	小林加奈
東京大学地震研究所研究支援チーム	学術専門職員	東野陽子
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部	学術専門職員	荒井道子

欠席者：

(委員)

秋田大学大学院国際資源学研究科	助教	坂中伸也
-----------------	----	------

立命館大学総合科学技術研究機構  
防災科学技術研究所火山研究推進センター  
(協議会オブザーバー)  
防災科学技術研究所火山防災部門

教授 小笠原宏  
センター長 清水 洋  
部門長 藤田英輔

## 【報告事項】

### 1. 文部科学省からの報告

井上地震火山専門官より、地震火山調査研究に関連する令和6年度文部科学省概算要求、令和6年度地震調査研究関係予算の概算要求の概要、科学技術・学術審議会測地学分科会の審議状況、地震本部における内陸で発生する地震の調査観測に関する検討WGの設置、及び火山調査研究推進本部の設置に向けた準備についての報告があった。

### 2. 令和5年度年次報告のとりまとめ方法と成果報告シンポジウム

内田企画部副部長より、令和5年度の年次報告のとりまとめ方法とスケジュール、成果報告シンポジウムの開催について報告があった。年次報告書は例年通り成果管理システムを使ってとりまとめるが、今回は最終年度にあたり令和5年度の成果の概要と合わせ本計画期間中の成果および次期計画において後続研究となる課題がある場合は、課題名の記入に協力するよう依頼があった。入力は来年1月上旬から可能となる予定で、各課題の連絡担当者へ改めて案内をする。

また、令和5年度成果報告シンポジウムについては、令和6年3月13日-14日に東京大学弥生講堂で開催する予定との報告があった。

### 3. 東大地震研と京大防災研の拠点間連携共同研究について

松島拠点間連携共同研究委員会副委員長より、東大地震研と京大防災研の拠点間連携共同研究について、募集開始に向けて準備中である旨説明があった。例年とはスケジュールが異なるが、これは建議を待って公募を開始するためである。

### 4. 令和6年度東京大学地震研究所概算要求について

古村地震研究所長より、本研究計画の予算に関係する地震研究所の令和6年度の概算要求事項の概要について報告があった。

### 5. 令和6年度公募研究・特定共同利用(A-01)について

大湊企画部長より、令和6年度公募について、現在の地震火山観測研究計画が終了する関係上、以下の公募について2024年1月中旬頃に別途公募を開始する予定であることが報告された。

- ・特定共同研究(A)(A-01)の課題公募、参加申請
- ・地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究の申請

### 6. 戦略室の活動報告

西村戦略室長より、次期研究計画推進について戦略室での対応状況、令和4年度年次報告(成果報告書)の作成、国際シンポジウム開催支援、災害軽減研究計画経費の追加要求の対応、関東地震100年国際シンポジウムの開催、地震本部との連携の状況について報告があった。

### 7. 国際シンポジウム開催支援について

大湊企画部長より、国際シンポジウム開催支援について2つの国際シンポジウムへの支援決定についてその詳細の報告があった。

8. 災害軽減研究計画経費の追加要求について

大湊企画部長から、災害軽減研究計画経費の追加要求について、2回の募集による計23件の研究課題へ追加の予算配分についてその詳細の報告があった。

9. シンポジウム「火山噴火と防災および観光シンポジウム2023ー草津白根山、御嶽山、箱根山ー」の後援依頼について

大湊企画部長より、シンポジウムの後援について申請があり、承認したことについて報告があった。

10. その他

加藤尚之委員から、関東地震100周年パンフレットの刊行について紹介があった。

【審議事項】

1. 令和5年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）の確認

令和5年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）が承認された。

2. 令和6年度地震研究所客員教員の推薦

大湊企画部長より、令和6年度地震研究所客員教員4名の推薦について候補者の提案があり、承認された。

3. 次期計画新規参加機関について

大湊企画部長より、次期地震火山観測研究計画(令和6-10年度)の実施機関として新たに認められた7機関が令和6年度より地震・火山噴火予知研究協議会に加わることに  
ついて提案があり、承認された。

4. 計画推進準備会の設置について

大湊企画部長より、次期観測研究計画の推進準備会の設置について提案があり、承認された。

5. 次期計画予算検討委員会の設置について

大湊企画部長より、次期計画の準備会長や新規参加機関の機関代表を含めた次期計画予算検討委員会の設置について提案があり、承認された。

6. 災害の軽減に貢献するための観測研究経費による研究員の雇用について

大湊企画部長より、次期観測研究計画経費による令和6年度の特任研究員雇用の申請の受け付けを開始することが提案され、承認された。なお人件費の確保について引き続き計画の内外で努力をしていくことが確認された。

7. 企画部戦略室構成員選考委員会の設置について

大湊企画部長より、来年度の企画部戦略室構成員を選考する選考委員会の設置が提案された。協議会委員選出の2名に対する選挙が実施され、加藤尚之委員、井出哲委員が選出された。両委員と、議長が指名した大倉敬宏委員、青山裕委員の計4名が選考委員会を構成することとなった。また、議長より、大倉敬宏委員が選考委員長に指名された。

8. JDR 特集号（観測研究計画5年間の振り返り）への投稿について

大湊企画部長より、観測研究計画(令和 1-5 年度)が終了するにあたり、本計画の成果について総括的にレビューする論文集を JDR(Journal of Disaster Research)特集号に掲載することが提案され、承認された。

#### 9. 地震・火山噴火予知研究協議会の名称検討 WG について

谷岡勇市郎議長より、現在の研究計画は、以前の「地震・火山噴火予知研究計画」からは大きく様変わりしていることから、協議会の名称を改めて検討することが提案され、協議会名の名称を検討するためのワーキンググループの設置が承認された。なおワーキンググループのメンバーに関しては、メール審議とすることとした。

### 【その他】

#### 1. 実績報告書の作成について

地震研究所の根岸係長より、実績報告書の作成について説明があった。

#### 2. 次期の協定等（協定書、共同事業契約書、共同事業計画書）について

大湊企画部長より、来年度から次期観測研究計画を開始するにあたり、各機関と地震研究所との間で協定等を締結する必要がある旨の説明があった。協定書については、案を後日メール審議し、2月末までの締結を目指すこととなった。共同事業契約書は、予算が決まり共同事業計画書が作成された後の、令和6年4月の締結を予定している。

#### 3. その他

谷岡勇市郎議長より、次回来年度第1回の予知協開催形態について、昨年アンケート希望よりハイブリット開催の希望が多かったため、ハイブリット開催としてよいか確認があった。

オンラインの継続に賛成する意見やハイブリッドの場合は対面を必要とする趣旨を明確にすべき、などの意見があった。